

別表2 リスクアセスメント基準

## 【リスク評価基準】(別表2-1)

視点	リスクの評価基準		点数
影響度	リスクが会社経営や事業運営に与える影響度合い		
	極大	事業の停止・影響が長期に及ぶ。	4
	大	事業が一定期間停止・影響する。	3
	中	一部の事業が一定期間停止・影響する。	2
	小	事業が一時的に混乱する。	1
発生頻度	リスクが発生する可能性・頻度		
	高	いつ発生してもおかしくない。	3
	中	数年に1度くらいは発生するかもしれない。	2
	低	10年以上は発生しないかもしれない。	1

## 【重要リスクの基準】(別表2-2)

リスク強度	発生頻度			重要リスクの選定条件 (影響度と発生頻度の関係)	リスク分類
影響度	3	2	1		
4	7	6	5	「2-1」または「1-1」 以外(網掛け部分)	重要リスク
3	6	5	4		
2	5	4	3	「2-1」または「1-1」	個別事業リスク (※)
1	4	3	2		

(※) 個別事業リスクは、重要リスク対象外とし、各部門で管理する。

各部門は、費用対効果、優先度など考慮してリスク対策を実施する。

## 【リスク対策の評価／有効性】(別表2-3)

有効性(値)＝対策前のリスク強度(評価点)－対策後のリスク強度(評価点)

対策後の評価 有効性	重要リスク対策の評価 有効性	
1以上	高	・今後必要なリスク対策でリスク低減が見込める重要リスク
0	低	・一定水準のリスク低減が図られている重要リスク ・今後必要なリスク対策では現状維持または効果があまり期待できないと考える重要リスク

## 【重要リスクの優先度】(別表2-4)

リスク強度	7	6	5	4	3	2
優先度	緊急		高	中	低	